

# はじめる一歩

2011/8 ~ 2013/6

1. 例会をたのしみましょう
2. ロータリーソング
3. ロータリーの会合
4. 寄付のあれこれ
5. ポール・ハリス
6. 米山梅吉
7. インターアクト・ローターアクト
8. 国際ロータリーのテーマ
9. ロータリアンの3大義務
10. RI 戦略計画
11. ロータリーの徽章
12. ロータリーに NO はない
13. クラブの定款と細則
14. 「会員アクセス」をご存じですか
15. ロータリーの女性会員
16. ポリオ撲滅
17. 国際大会に参加しましょう
18. ロータリー始まりの日
19. 大震災と日本のロータリー
20. ロータリーの立法機関 規定審議会
21. あなたはなぜロータリアン?
22. ロータリーの情報はどこから?

# 例会を楽しみましょう

## まずは例会

ロータリーの基本は、「例会から」と言われます。クラブに入会したばかりのときは、先輩の顔と名前がなかなか一致しませんが、例会に出るうちに自然と覚えられます。所属しているクラブに慣れ、ロータリーのことがわかるようになってくると、ロータリーの例会や活動に、自分なりの楽しみを見つけ出すことができるでしょう。

例会中はさまざまな報告や卓話などがあり、周りの人たちと話すことのできる時間が限られていますから、時間が許せばできるだけ早く例会場に行き、いろいろな人に話しかけてみるのも、クラブに早くなじむ方法です。ロータリアンにはシャイな人も多いため、新会員のあなたを気かけながらも声をかけられないでいるかもしれません。

例会では、会長の時間や、各委員会の報告を通して、ロータリーを知ることができます。また、卓話として、さまざまな話を聞くことができますが、これらが仕事の参考になったり、暮らしを豊かに変えてくれるきっかけになることも多いと思います。

## メイクアップをしましょう

でも、仕事の事情などで、どうしても例会に出席できない時、そんな時には、ほかのクラブの例会に出席して、メイクアップ（出席補填）することもできます。欠席した例会の前後2週間の間に、他のクラブの例会か、定められた会合に出席すれば、メイクアップが

できます。例えば水曜日が例会日ならば、2週間前の水曜日から2週間後の水曜日までの間に、それらの会合に出席すればいいのです。

クラブによって例会の時間が違い、朝、昼、夜、さまざまな時間帯に例会が開催されていますから、出席できる時間と場所を探して、その例会でメイクアップすることができます。もちろん、自分のクラブの例会時間と異なる時間帯の例会、例えば、昼間の例会の欠席を夜の例会で補うことも可能です。

いつ、どこで例会が開催されているかは、例えば、近隣のクラブでしたら、先輩会員や事務局の人に聞くとも教えてもらえます。『ロータリーの友』には、年2回、3月号と9月号に「例会一覧表」が付いていますから、そこから探すこともできます。パソコンをお使いの方なら、「ロータリージャパン [www.rotary.or.jp](http://www.rotary.or.jp)」にある例会一覧で調べることもできます。

他クラブの例会に出席する場合、事前に予約をする決まりはありません。例会場にビジターのための受付がありますから、そこで自分の名前やクラブ名などを記入して、ビジターフィー（クラブによって金額が異なります）を支払い、担当者の指示に従って席に着きます。

## 他クラブのロータリアンと知り合いに

例会の雰囲気や、例会の進め方は、クラブによって違います。メイクアップという意味ではなく、たまには違った雰囲気を味わうために他のクラブの例会に出席してみたいかでしょうか。そこで、積極的に名刺交換をするなどして、いろいろな会員と話をする、新しい世界が広がるかもしれません。

仕事や休暇で海外に行く場合は、海外のロータリークラブの例会を探して出席することができます。その場合は、国際ロータリーのホームページ [www.rotary.org](http://www.rotary.org) またはクラブ事務局にある『Official Directory』で例会の予定を知ることができます。

「ロータリーの基本は例会から」。単なる義務としてではなく、ロータリーの例会を楽しみましょう。『友』編集長 二神 典子



## ロータリーソング

カラオケでマイクをにぎることはあっても、みんな一緒に歌うなどということは、普段、あまり経験しないことでしょう。入会して間もないころは、例会で歌を歌う光景を目の当たりにして驚かれたかもしれません。増してや、地区大会などの折に全員で手をつないで、「手に手つないで」を歌うとなると、かなり勇気が必要だったかもしれません。

ところで、ロータリーにおいて、「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905年にロータリーが創立したとき、最初に会員となったポール・ハリスと、シルベスタ・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローアの4人に次いで、5番目にロータリーに入った人、ハリー・ラグルスです。しかし、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたから、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

産声を上げたばかり、1905年のロータリークラブのある秋の夜の例会について『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』（P 30）には、以下のように記されています。

1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった。

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。このとき歌われたのは、当時の流行歌でした。



さて、ロータリー誕生後2年目には、ささいな意見の相違がだんだん大きくなり、クラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こったようです。そこで、当時シカゴロータリークラブ（RC）の幹事であったウィル R・ネッフ医師が、ハリー・ラグルスと協議しました。「これがもう1か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう」とネッフは悲しそうにハリーに言い、続けて「私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う」と言った、というような記録が残っていると、笹部誠パストガバナー（1964-65年度・川崎RC）が『友』誌（初載は1971年4月号、2002年9月号に転載）に記述しています。

その結果、ハリーの指揮による歌声が、毎回クラブの例会で響くようになり、いつのまにかクラブの中の雰囲気は改善され、シカゴRCは解散の危機を脱していたそうです。歌が、人々の心を結んだのです。

日本のクラブでは、ほとんど歌を歌っているようですが、海外に行けば、例会で歌を歌う慣習のないクラブもあるようです。ガバナーエレクトがガバナー就任前に参加する国際協議会という研修会では、本会議の前にロータリーソングを歌を歌う時間があります。歌には、少しその場が和み、人々をリラックスさせる力があるのかもしれません。

さて、日本のロータリークラブでよく歌われている歌は、「奉仕の理想」「我らの生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」といったところでしょうか。しかし、独自の歌をつくって、例会で歌っているクラブも少なくありません。クラブの歌が、ほかのクラブからメイクアップに訪れたロータリアン（ビジター）や、卓話者などのゲストを歓迎するための歌をつくっていて、例会に出席をすると歌ってくださるクラブもあります。ロータリーソング以外の歌を取り入れているクラブもあります。どのような歌が歌われているのかと言えば、会員の年齢によって違ってきます。

大きな声で楽しく歌を歌えば、楽しいひとときを過ごすことができるでしょう。皆さまのクラブではどのような歌を歌っていますか。  
『友』編集長 二神 典子



## ロータリーの会合

ロータリークラブの例会とメイクアップについては、8月号の本欄でご紹介しました。ロータリーの会合は、例会以外にもいろいろありますが、今回は特に、新会員が参加できる会合について、ご紹介します。

クラブによって名称が異なりますが、炉辺会合、ファイアーサイドミーティング、インフォーマルミーティング（IM）、情報集会といった呼び方をしている会合があります。これらの会合では、ロータリーについての情報を提供したり、意見交換をしたりしています。開催の頻度もクラブによって違いますが、例えば、例会で座席を決めているクラブで、1～2か月に1回、新しい座席になる度に、同じテーブルになった会員が集まって開催しているクラブがあります。年に1回程度、クラブの会員全員を対象に開催しているクラブもあります。

もともとは、会員の自宅で開催することが多かったようですが、住宅事情が変わってきて、今ではホテルやレストランなど自宅以外の場所で開催するケースがほとんどのようです。

ロータリーの基本を伝えたり、お互いが知り合いになる目的で、新会員を集めて会合を持つクラブがあります。例会の時はプログラムがいっぱいで、言葉を交わす機会が見つからないことが多いと思います。新会員が集まる会合は、ほかの人たちと話をし、親しくなるチャンスでもあります。

新会員が集まる会合を持っているのは、クラブだけではありません。地区でも「新会員の集い」などの名前で、新会員が集う機会を設けている場合があります。このような会合では、地区内のほかのクラブの会員と

知り合いになることができます。最初は勇気のいるメイクアップですが、訪問先のクラブに知り合いの会員がいれば、気楽にメイクアップができることでしょう。他クラブの会員と会うことのできる機会には、名刺交換をすることをお勧めします。

別のクラブの会員と出会う機会はほかにもあります。まずはインターシティミーティング。一般的にIM（アイエム）と呼ばれるこの会合では、分区（グループ）内のクラブの会員が集まります。テーマはさまざまですが、ロータリーに関する情報や、一般的に話題になっている事柄についての講演などを聞くことができます。また、懇親会もありますから、近隣のクラブの会員と知り合うこともできるでしょう。

地区大会は、地区内の会員が一堂に会して開かれる重要な会合です。国際ロータリー（RI）の方針や、地区内の状況についての報告など、最新のロータリー情報を得ることができます。興味深いテーマの講演を聴くこともできます。ここでは、自分の所属するクラブと活動や雰囲気が全く違うクラブがある、ということに気づくでしょう。

ロータリーの多様性を知る一番よい場は、国際大会です。200以上の国と地域に存在するロータリークラブですが、それらのロータリアンが出会う場が国際大会です。さまざまな言語、民族衣装、開会式での国旗の入場……。国際ロータリーの「国際」の意味を実感することができると思います。また、RI会長や元RI会長などの講演を聴くこともできます。趣向を凝らしたエンターテインメントを楽しむこともできます。友愛の家では、クラブや地区のプロジェクトの展示を通して、世界中のロータリーの活動を知ることができます。国際的な親睦グループのブースでは、自分の趣味に合った活動を見つけることができるかもしれません。次の国際大会は、タイ・バンコクで、2012年5月6～9日に開催されます。

忙しい時間をやり繰り返すのは大変ですが、時間をつくって、いろいろな会合に参加してください。ロータリーをより早く理解でき、ロータリーが身近になります。

『友』編集長 二神 典子



## 寄付のあれこれ

今日は、寄付について紹介します。

「ロータリー財団」については、お聞きになったことがあると思います。ロータリー財団は、1917年6月、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会で、アーチ・克蘭フ氏が「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案し、その提案が同大会で採択されたことに始まります。ロータリー基金(ロータリー財団の前身)への最初の寄付は、1917年、ミズーリ州カンザスシティロータリークラブ(RC)からの、26ドル50セントでした。

ロータリー財団の資金は、奨学金の支給をはじめとする教育的なプログラムと、ポリオの撲滅や安全な水確保などの人道的プログラムのために使われます。

もちろん日本国内のプロジェクトにもロータリー財団の資金を活用することはできますし、多くの日本の大学生が留学のための手助けにもなっていますが、日本の場合は、これまで寄付をしたり海外の支援のために資金を使うなど、支援を受けるよりは、支援をする方が多かったと思います。しかし、今回の東日本大震災では、世界各国の人たちからロータリー財団を通して多額の支援が寄せられ、現在、それらの資金が復興のために役立てられています。

「ロータリー米山記念奨学金」は、日本で初めての東京RCを創立した米山梅吉氏の没後、その功績を記念して、東京RCが創設した「米山基金」が基になっています。この事業が、全国に広がり、1967年7月

財団法人の認可を得ました。この奨学金によって、海外から日本に留学する多くの学生に奨学金が渡されてきました。ただお金を渡すだけではなく、奨学生には世話クラブが指定されカウンセラーがついて、例会に招いたり、学校や進路についての相談にのったり、さまざまな形で支援をしています。奨学期間が終了した後も、世話クラブやカウンセラーと連絡を取り合っている奨学生も多く、日本と母国の懸け橋となっています。

「ニコニコボックス」は、クラブによって「ニコニコ箱」「スマイルボックス」など、呼び方は少し違うようですが、例会場に箱と紙が置かれていて、メッセージとともに献金をするものです。ここで集まったお金は主にクラブの社会奉仕活動に使われます。

メッセージは例会の時に読み上げられることが多いのですが、その方法はさまざま。メッセージの一つひとつにコメントをつけて会場を笑いの渦に包む、といったクラブもあります。また、箱を演題の上に置き、食事の時に献金して献金した本人が1~2分近況を話すクラブもあります。海外には「ペナルティーボックス」という名前で、SAA(会場監督)が会員の前に立ち、その罪状を述べて献金をしてもらおうというクラブもあります。罪状といっても、例えば「あなたは奥さんと仲が良すぎて、周りが迷惑しています」といったような楽しいものです。小さな箱を回してその中にコインを入れるというクラブもあります。

この他にも、世界の各地または日本国内で大きな災害が起きた時に寄付を募ったり、地元の高校生に奨学金を出すなど、クラブ独自の事業のための募金箱を設置しているクラブもあります。

いずれにしても寄付は任意の行為ですから、いつ、いくら寄付をするかは自由です。例えば、ロータリー財団の寄付はドル建てで記録をされますから、換算レートがいい時(ロータリーレートは毎月発表されます)を選んで寄付をするとか、自分の誕生日や入会日に合わせて寄付をする、ということもできます。

自分の寄付が何に使われるのかを知ることも大事なことだと思います。

『友』編集長 二神 典子



## ポール・ハリス

ポール・ハリスという名前を耳にすることがあると思いますが、「いったいどんな人？」と疑問に思っている新会員は少なくないと思います。ロータリーの中であまりにも有名なので、先輩会員はうっかり説明し忘れる場合も少なくないからです。

ポール・ハリスは、ロータリーの創始者です。1868年4月19日、アメリカ・ウィスコンシン州の小さな町、ラシーンで生まれました。ロータリーの文献に載っている彼の写真を見るととてもおとなしそうな印象を受けるのですが、子ども時代は、かなりのわんぱくだったようです。

「ポールにとつて一番好い遊び場所は町の中央であつた。當時は未だ道路規則などは必要でなかつた時代であつたので、ポールは自分勝手に、車馬の通行よりも子供の遊びの方が大事だと極め込んで居た。セシルはこの小さい弟の判断が間違つて居ることを認めて、走つて行く馬の蹄の下から、腕白な弟を攫み出さなければならぬこともあつたので、さうした時のセシルが大抵酷く引掻かれて痛い目を見せられたといふことは、ポールたるもの今日に於て大いに恐縮せざるを得ない所である」と、自身の著書に書いています（『ロータリーの創設者ポール・ハリス』翻訳 米山梅吉）。

1871年、彼は父に連れられて、兄とともにバーモント州ウォーリングフォードの祖父母の家に行きます。この日から、兄弟は祖父母に育てられることになるのです。

1891年、ポール・ハリスは、アイオワ大学を卒業。その後、5年間の放浪の旅に出ます。放浪の旅を終えた彼は、シカゴに小さな事務所を借りて弁護士事務所



を開きます。仕事は順調に進んでいたものの、個人的な友人を見つけるのは難しかったようです。

「ウィークデーにはがっかりさせられるようなこともたくさん起こりましたが、それでもまあ、よかったです——というのは、仕事が忙しくて、自分のことなどを考えている暇がなかったからです。これに反し、日曜や休日はもの悲しい日でした。日曜の朝は下町の教会へゆけばよかったですのですが、長い日曜の午後はどうにもならないほど孤独でした。あの故郷のニューイングランドの谷間の緑の原や、心優しい昔の友人たちを、どんなに恋こがれたことでしょう……」と、その胸の内を語っています（『ロータリーへの私の道』ポール・ハリス著）。

この孤独な思いがロータリーの創立の源になったようです。同書に「ある晩、私は同業の友人に連れられて、郊外の彼の家を訪れました。夕食後、近所を散歩していると、友人は、店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。これを見て私は、ニューイングランドの私の村を思い出しました。そのとき浮かんだ考えは、どうかしてこの大きなシカゴで、さまざまな職業からひとりずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見をひろく許しあえるような人を選び出して、ひとつの親睦関係をつくれぬものだろうか、ということでした。こういう親睦関係ができれば、必ずお互いに助け合うことになるはずですよ」と書いています。

1905年2月23日、ポール・ハリスは、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ローア、仕立て屋のハイラム・ショーレーの3人と会合を持ちました。これが、現在200以上の国と地域に、約3万4,000のクラブ、約122万人のロータリアンを有する国際ロータリーと発展していく組織の始まりです。

1935年、ポール・ハリスは、日本に立ち寄っています。その時、彼が東京の帝国ホテルに植えた月桂樹は、株分けをされ、日本全国にその2世、3世が元気に育っています。

1947年1月27日、ポール・ハリスは逝去しましたが、彼の志は多くのロータリアンに引き継がれています。 編集長 二神 典子



## 米山梅吉

日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏は、1868年2月4日、江戸芝田村町で生まれました。米山氏が生まれたのは慶應4年、この年の6月に改元して明治となりました。お気づきの方もいらっしゃると思いますが、先月号でご紹介した、ロータリーの創始者ポール・ハリス氏が生まれたのは、1868年4月19日。くしくも、この二人は同じ年に生まれたのです。

5歳で父を亡くし、母親の実家のあった静岡県三島市で幼年時代を過ごすこととなります。彼は、神童と言われるほど頭のいい子どもであったようですが、12歳の時、望まれて米山家の養子になりました。

1888（明治21）年、米山氏は渡米して、オハイオ州ウェスレアン大学を中心に、働きながら学びました。帰国後の1897（明治30）年、合名会社三井銀行に入社、1924（大正13）年、三井信託株式会社を創立し社長に就任しました。

米山氏が、東京ロータリークラブ（RC）を創立したのは、その少し前、1920（大正9）年です。創立は10月20日。同クラブは、翌1921（大正10）年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟認証されました。

1918（大正7）年元旦、当時、ダラスRCの会員であった福島喜三次氏を米山氏が訪れています。『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』には、「ここで二人が知り合ったことは、後に、極めて重大な結果を生むのである」と書かれています。

翌年12月に帰国を予定していた福島氏にダラスRCの会員は、日本でもロータリーをつくったらと勧め、福島氏は「やってみよう」答えます。

帰国後、福島氏は国際ロータリークラブ連合会から、東京RCをつくるようにと特別代表に任命されます。先の『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』には、「期限は残すところ3ヶ月余、一方、チャーター・メンバーの顔振れを見ると、米山とて、短期日では揃え得なかったと考えられる。そうなると、福島は、特別代表に任命されて、時を移さず、その権限を米山に一任したものであろうと推察される」と書かれています。このような経過をたどり、米山梅吉氏は、東京RCの初代会長に就任します。

東京南RCに在籍していた米山梅吉氏の子息、米山桂三氏は、

帰国の翌年父は三井銀行に入社するのですが、日本資本主義の発達に乗って父は出世街道をばく進する幸運に恵まれたのであります。（中略）

しかし、この間にも少年時代に染まった理想主義や苦学生時代の苦い経験、あるいはアメリカ留学時代の教育を忘れなかったためか、父の理想主義的な社会改良思想は消えていなかったようであります。

そうしたわけで、今や富める資本家階級の一人となった父にとってロータリーの奉仕の精神はまさに彼に彼の思想の安住の場所を与えたようであります（もっともマルキストに言わせれば、それはブルジョアの逃避の場所ということになるでしょうが）。

こうして父はロータリーの仕事にも専念したらしいのですが、この頃の父はどうやら余り融通のきかないロータリアンであつたらしく、ある例会のとき会長として次週の例会は祝祭日に当たるので休会するとお断りしたところ、出席会員から喜びの拍手がわいたのを見ると、いきなり強い語調で立派な会員の方々をたしなめたという、父の口から聞いた伝説ならざる逸話が残っているのがあります。（『友』1972年8月号）

と、父、米山梅吉氏のロータリーに対する思いについて書いています。

編集長 二神 典子



ポール・ハリス氏来日記念歓迎会。1935（昭和10）年。左から富岡常次郎、米山梅吉、鹿島精一、ポール・ハリス、小林雄一、徳川家達公爵、斎藤実前首相、ロバート・ヒル

## インターアクト、ローターアクト

地区大会などで、インターアクトクラブやローターアクトクラブの会員が紹介されることがあります。そんな時、「彼らは何者？」などと思われたことはありませんか。いずれも、ロータリークラブ（RC）がスポンサーをしている若い人たちのグループです。今月は、この2つのグループについてご紹介します。

インターアクトクラブ（Interact Club、IAC）は、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリークラブが提唱している世界的な団体です。高校に在学中の生徒、または年齢12～18歳までの青少年が入会できます。Interactという名は「国際的活動」International Actionを意味します。

以前は最低年齢が14歳でしたから、高校のクラブ活動として結成されたところがほとんどですが、一部の中高一貫校では中学生も参加していました。しかし、2010年1月の国際ロータリー理事会で、12歳に引き下げられることが決定し、中学校にもインターアクトクラブができ始めています。また、クラブ活動として一部の生徒が参加するのではなく、全校生徒が参加している高校もあります。いずれにしても、基本的には学校が一つのクラブの単位になっていますから、ロータリークラブ側の担当者だけではなく、顧問教師が会員の面倒を見えています。

ローターアクトクラブ（Rotaract Club、RAC）は、18～30歳（厳密には、30歳になった後の6月30日まで）の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブが提唱する世界的な団体です。地域社会を基盤とするRACと、大学を基盤とするRACの2種類のクラブがあります。Rotaractの名称は、「ロータリー」（Rotary）と「行動」（Action）からきています。こちらはインターアクトに比べて年齢が高いため、それぞれのクラブ、それぞれの地区で、会員がアイデアを出して活動を行っています。

インターアクトクラブの会員をインターアクター、ローターアクトクラブの会員をローターアクターと呼んでいますが、彼らはどのような活動をしているのでしょうか。

ロータリアンの皆さんと同様に、クラブ例会を開いています。例会の頻度は基本的には2週間に1回程度です。例会のやり方はクラブによって違いますが、ロータリー同様、点鐘をして歌を歌うところから始めるクラブもあります。インターアクトの歌、ローターアクトの歌と、それぞれに歌を持っています。余談ですが、「ローターアクトの歌」ではなく「ローターアクトの歌」となっているのは、ずっと以前、この歌ができたころは、英語の発音に近い「ローターアクト」という表記を使っていたからです。

奉仕活動について、特にインターアクトの場合は、学校の周りの清掃、校内でのあいさつ運動、地域のイベントの支援など、地域社会への奉仕活動が多いようです。工業高校の生徒が壊れたおもちゃや車いすの修理をしたり、農業高校の生徒が絶滅危惧種を栽培したり、学校での勉強を奉仕活動に生かす例もあります。ローターアクトクラブの場合は、地域に根差した活動に加え、発展途上国の人々のために井戸をつくったり、学校を建てる支援をするなど、国際的な活動も活発に行っています。さらに、インターアクターもローターアクターも、ポリオ撲滅など、ロータリアンとともに活動をする機会もたくさんあります。

インターアクターもローターアクターも、ロータリアンに接しながら、ロータリーのこと、社会のことを学んでいます。ロータリアンは、彼らの手本となるよう自らの行動を振り返らなければいけません。また、できるだけ機会を見つけて、彼らの若いアイデアに触れれば、新しい活動の芽を見つけることもできるでしょう。

編集長 二神 典子





## 国際ロータリーのテーマ

クラブの例会場や『週報』、また『ガバナー月信』などで、国際ロータリー（R I）のテーマを目にする機会があると思います。このR Iテーマは、R I会長から、毎年出されるメッセージで、その年度を通じて、奉仕活動の方向づけとなるものです。

実際には、その年度が始まる前に開催される国際協議会（ガバナーエレクトの研修会）の開会本会議で、R I会長エレクトによって発表されます。この開会本会議でのスピーチは、単にテーマを発表するだけではなく、自身の経験や、そのテーマに至るまでの過程、そして、来る年度に全世界のロータリアンたちにどのような目標を持ってほしいのかなど、R I会長エレクトの思いが語られます。

これまでに発表されたテーマを見てみると、時代の流れや、その時、その時のR I会長の思いが伝わってきます。

ところで、『2010年 手続要覧』には、

会長の年次メッセージは、特定のプログラムあるいはテーマその他その発表の形式を問わず、当該年度におけるロータリーのプログラム遂行上、最大の重要性を持つものである。ガバナーが会長のプログラムもしくはテーマを取り上げ、あらゆる適切な方法によって強調することは、その役職と切離すことのできない任務である。例えば、地区大会その他地区会合のテーマにするとか、ガバナー月信、公式訪問その他地区内のクラブやロータリアンと接する場で紹介することなどである。ガバナーの掲げる地区の目標あるいは目的は、会長のプログラムまたはテーマに関連させ、これを強調するようなものでなければならない。そして、前記の地区の目標か目的について何か言う場合には、必ず会長のプログラムまたはテーマをはっきりと分かるように示すことが必要である。会長のメッセージはすべてのロータリー・クラブとロータリアンに知らせ、理解させ、効果的に実行されなければならない。

R Iテーマは、使用すべき唯一のテーマであって、ほかのテーマの使用

は控えなければならない、ということにR I地区とクラブの全役員の注意を喚起する。

とあります。すなわちR Iテーマは、その年度に世界中の全ロータリアンが、いつも気かけ、理解し、実行していかなければならないものなのです。また、地区やクラブは独自のテーマを持つことを控えなければならないと、書かれています。

さて、来年度は、日本から3人目のR I会長が誕生しますが、日本からの初めてのR I会長は、1968 - 69年度の東ヶ崎潔氏（東京RC）でした。東ヶ崎氏が出したテーマは、「PARTICIPATE！」。「参加し敢行しよう！」という翻訳がついていますが、このテーマは、英語では、これまで最も短いテーマです。

2人目のR I会長は、1982 - 83年度の向笠廣次氏（中津RC）で、その時のR Iテーマは「MANKIND IS ONE Build Bridges of Friendship Throughout the World」、日本語訳は「人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう」です。向笠氏の「人類はすべていとお互に」という言葉とともに、このテーマは今でもよく引用されるようです。

さて、3人目のR I会長として今年の7月1日に就任する田中作次氏は、「Peace Through Service」、「奉仕を通じて平和を」です（本誌横組みP 33 ~ 34参照）。田中氏は、ロータリアン一人ひとりに「平和」について考えてほしいと要請しています。皆さまは「平和」をどのように考えますか。そして、このテーマを実践するために、どのような活動をしようと考えていますか。

『友』編集長 二神 典子





## ロータリアンの3大義務

ロータリークラブに入会すると、まず、先輩会員から、ロータリーについての基本的な話を聞くことになると思います。皆さまはどのような話を聞かれましたか？「例会はとても大切ですから、休まないように」などという話を聞かれた方もおありでしょう。

ロータリーは、「まず例会出席から」と言われています。標準ロータリークラブ定款第9条に、出席に関して書かれていますが、その第1節には、「各会員は本クラブの例会に出席すべきものとする。(後略)」とありますが、このように、例会への出席は、ロータリークラブの会員の義務の一つになっています。

例会は基本的に週1回開催されます。Eクラブの会員は定められた曜日・時間から1週間間にクラブのホームページにアクセスすることで、出席することができます。やむを得ない事情により欠席した場合は、その例会の前後14日以内に、ほかのロータリークラブの例会やそのほかロータリークラブ定款に定められている、他の会合に出席すること（Eクラブの例会にアクセスすることも含む）によって、欠席をメークアップ（補填）することができます。

年度の半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が50%に達していない場合、所属クラブの例会総数のうち少なくとも30%に出席していない場合、クラブ理事会が正当かつ十分な理由があると認めなければ、会員身分が終結することがあります。ちょっと難しい言い方ですが、要は、ロータリアンではなくなるということです。

さて、皆さまは、所属クラブに会費を納めていらっしゃると思いますが、会費の納入もロータリアンの義務です。しかし、会費の金額、その内訳は、クラブによって異なります。

所定の期限後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、クラブ幹事が書面で催告をして、その後10日以内に会費が納入されなければ、理事会の裁量で会員身分を終結しても差し支えないことになっています。

会員が納めた会費の用途はクラブによって異なりますが、ほとんどのクラブでは、この中に国際ロータリー（R I）の人頭分

担金という、ロータリアンがR Iに収めなければならないお金も含まれています。クラブがR Iに人頭分担金を納めなかった場合は、一定の手続きを経て、クラブが消滅してしまうことになります。

3つ目が、雑誌の購読です。R Iの機関誌は、R I世界本部で発行している『The Rotarian』です。このほかに世界各地で、30のロータリー地域雑誌が発行されています。これらロータリー関係の雑誌を合わせて「Rotary World Magazine Press」と呼びます。皆さまのお手元に毎月届いている『ロータリーの友』も、ロータリー地域雑誌に指定されていますから、日本のロータリアンの皆さまは、この『ロータリーの友』か『The Rotarian』を購読すれば、その義務を果たすことになります。

しかし、「購読」ですから、単に代金を支払って「買う」ということではなく、その雑誌を「読む」必要があります。

『ロータリーの友』は、1953(昭和28)年1月に創刊、1980(昭和55)年7月号から、R Iの公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)に指定されました。近年では、各地域雑誌がウェブサイトを開設していますが、『ロータリーの友』でも『Rotary Japan』www.rotary.or.jpを開設し、ロータリーの内外に向けて情報を発信しています。

以上のように、「例会の出席」「会費の納入」「雑誌の購読」が、ロータリアンの3大義務と言われるものです。皆さまは、きちんと義務を果たしていらっしゃいますか。『友』編集長 二神 典子





# R I 戦略計画

「国際ロータリー（R I）戦略計画」という言葉を初めて目にした方も多いと思います。新会員の皆さまの中には、その言葉は知っているが、それはベテランの会員向けのもので、自分たち新会員には無縁だと思っている方がいらっしゃるかもしれません。しかし、新会員であっても、自分が所属している組織がどのようなものなのかは、知らなければなりません。

R I 戦略計画についてご紹介しますと、本質は「地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク」となっています。また、使命は「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」とされています。

それらを実践するための「優先項目」には、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の3つが挙げられています。

さて、「ロータリアンが、ロータリーの中において、何を優先させ、どのような行動を取るのか」の指針として、「中核的価値観」が定められていますが、これは、先輩会員だけではなく、入ったばかりの新会員に至るまで、ロータリアン一人ひとりが認識をして、実践すべきものです。「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」の5つが挙げられています。以下に紹介しますと、

**奉仕** ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると、私たちは信じている。奉仕は、私たちの使命の主要な要素である。私たちは、個々のクラブの計画と行動を通じて、奉仕する者に無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

**親睦** 個人による奉仕活動は個々のニーズに焦点を当てるものであるが、協力して行う奉仕活動は人類に奉仕するものであると、私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース（資源）をもたらし、私たちの人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦は、民族や国家といったさまざまな違いを超越し、寛容の精神へと導くものである。

**多様性** ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが、将来の繁栄の鍵を握るクラブである。

**高潔性** 私たちは、活動の結果について、また目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース（資源）を良心的に管理する。

**リーダーシップ** 私たちは、それぞれの活動分野におけるリーダーから成る世界的な集まりである。私たちは、指導力を伸展させることの重要性、および会員の優れた資質としてのリーダーシップを信じている。ロータリアンである私たちは、これらの中核となる価値観を率先して実行していくリーダーであると、あります。

ロータリアンが、例会や奉仕活動を通じて、また、職業や日常生活を通じて、何を考えどのように行動すればいいか、その指針の一つが戦略計画なのです。

編集長 二神 典子





## ロータリーの徽章

新会員の皆さんは、ロータリーに入会して、ロータリーのバッジを手にした時、あるいは、襟に着けてもらった時の記憶も新しいことと思います。

歯車の徽章は、ロータリアンであることの証しですから、例会や地区大会など、ロータリーの会合だけではなく、常に着けているようにしましょう。

先輩会員から、ロータリアン同士は初めて会った時から親しく付き合えるという話を聞かれたことがあるかもしれません。『ロータリーの友』誌にも、時折そのような話が掲載されます。相手は皆さんのことを、そして皆さんは相手のことを、どのようにしてロータリアンだとわかるのでしょうか。襟にロータリーの徽章を着けていれば、お互いがすぐにロータリアンだとわかります。

松下幸之助氏は、社章と一緒に、いつもロータリーの徽章を着けていたそうです。ケンタッキーフライドチキンの創始者カーネル・サンダース氏もいつもロータリーの徽章を着けていたようで、日本の店頭にあるカーネルおじさんの人形の襟には、小さなロータリーの徽章が着いています。会ったことのない人でも、ロータリアンだとわかれば、親近感がわいてきませんか。

ロータリーの徽章は、国際ロータリー（R I）が知的所有権を有しています。R I 定款第 13 条には、「クラブの各会員はロータリアンとして認められ、R I の徽章、バッジまたはその他の記章を着用する権利を与えられるものとする」とあります。ロータリアンだけでなく、ロータリークラブや地区もロータリーの徽章を使用することができます。しかし、その使用には、守らなければいけない規則があります。

ロータリーの徽章について、R I の資料『R I 視覚的イメージのための手引き』には、「ロータリーの

歯車は世界各地で普遍的にロータリー・クラブおよびその会員を表す唯一の図形です。（中略）徽章を適切に用いることによって、ロータリーを明確に認識できる視覚的アイデンティティーが確立されるとともに、組織の公共イメージが強化されます。この理由から、ロータリーの徽章は、どのような方法であろうとも、変形、修正、または改造してはならず、全体を複製しなければなりません」と書かれています。

徽章の一部だけを切り取って使っているのを、クラブや地区の印刷物で見かけることがありますが、これは規則違反。また、この徽章を薄い色にして、文字を上重ねるというのも規則違反です。さらに、自転車などの車輪など、何かの一部としてイラストなどに使うこともできません。

徽章の色については、一色だけを使う場合は何色を使ってもいいのですが、複数の色を使うときは、ロイヤルブルーと金色（またはメタリックゴールド）と決められています。

使用方法に細かい決まりがいろいろとありますが、それも、この歯車の徽章が、ロータリアンを結ぶ大切なものだからです。

「ロータリアンは、R I 会長も、ガバナーも、クラブ会長も、そして新会員もみんな平等」と言われますが、ロータリーの徽章を着けていると、外部の人には、ロータリアンという以外に、新会員やベテランの会員を区別する手段はありません。みんな一緒に見えるのです。

いつもバッジを着け、ちょっと背筋を伸ばして歩き、ロータリーにいいイメージをもっていただけるよう、日々の活動、行動に気をつけるようにしましょう。

編集長 二神 典子



## ロータリーに NO はない

先輩会員が、「ロータリーにNOはない」と言っているのを聞いたことがありますか。ロータリーの中で、何かの役職を頼みたい時、奉仕活動を手伝ってもらう時など、頼みごとを断られると、「ロータリーにNOはない」という、このセリフが飛び出してくることがあります。

「モノを頼んでおきながら、なんて失礼な言い方なんだろう」とか「全く強引な人だ」なんて腹を立てたりしないでください。その人は、あなたを見込んで、あなたの能力を信じて頼んでいるのですから。

「自分たちがロータリーに入ったころは、『ロータリーにNOはない』と言われて断わることもなんかできなかったのに、最近の人たちは平気で断わってくる」と、言っている年配の会員を時々見かけます。

クラブ会長や幹事、委員長などの役職に就くと、いろいろな仕事が舞い込んでくるので、そんなことはやりたくないと思われる方も多いかもかもしれません。せっかくの休みをつぶして奉仕活動に付き合うのは、ごめんだと思われる方も多いかもかもしれません。

しかし、これらのことは、あなたに断られたからやめればよいというものではないのです。あなたが断れば、必ず別の誰かがやらなくてはならなくなるのです。そして大抵の場合、それはいつも同じ人に、つまり頼まれごとを断ることのできない人に回ってることになります。あなたも仕事が忙しいかもかもしれませんし、家族との約束もあるかもかもしれませんが、その人も同じように忙しいことでしょう。

ロータリーで、「忙しい」というのは、仕事を断る理由にはなりません。忙しい人がいっぱいいるからです。「忙しい時間を上手にコントロールして活動の時間をつくることも大切。それも勉強のうち」という言葉も、ロータリーではよく耳にします。

うまく断ることができたら、あなたは「良かった」と思うかもしれませんが、実は、ロータリーでの大きなチャンスを逃してしまっ

ているかもしれません。

入会したばかりのころは、ほとんど知った人がいなくて、戸惑うことばかりだと思います。誰に聞いたらいいかすらわからないでしょう。でも、共に活動することにより、先輩会員はあなたのことを覚えてくれます。共に活動することにより、あなたのことを仲間だと思ってくれるでしょう。そうなれば、クラブにあなたの居場所ができていきます。共に活動すれば、例会の始まる前や終わった後で、先輩たちの仕事や趣味の話、さまざまなロータリーの話聞くことができるようになるでしょう。あなたがクラブでしてみたい活動について話をする機会に恵まれるでしょう。

「NO」と言わずにロータリーの活動をしている人たちは、ロータリーの本当の楽しさを知っているのかもしれない。ロータリーで仲間をつくることの喜びを体験しているのかもしれない。

「ロータリーにNOはない」と言っている先輩会員は、「NO」を言わなかったおかげで、何か良いことがあったという経験の持ち主で、あなたにもその経験をしてほしいと願っているのかもしれない。

入会したものの、ロータリーのことがよくわからない、ロータリーにうまくなじめないと思っているあなたは、「忙しいからできない」という言葉をのみ込んで、自ら率先して仕事を引き受けてみてはいかがでしょうか。

編集長 二神 典子



## クラブの定款と細則

ロータリークラブに入会した時、クラブの定款と細則を渡されたことと思います。その時に、簡単にクラブの規則について説明を受けたことと思いますが、その後、この定款と細則をあらためて読み直した方は少ないかもしれません。

ここには、皆さまのクラブを運営していくための大切な規則や、皆さまがクラブの会員であり続けるための決まり事が書かれていますから、一度、読み返してみてください。

例えば、クラブの例会に欠席する場合、その例会の前後2週間以内に他のクラブの例会か、決められた会合などに出席して欠席をメイクアップしなければならない、ということもロータリークラブ定款に書かれています。例会時間の60%以上の時間、例会に出席していなければ、出席と認められないこともそこに書かれています。例会を何曜日の何時から開催するということや、入会金と年会費の額については、ロータリークラブ細則にあります。このように、入会したときに先輩会員から教えられたことの多くが、定款と細則に定められているのです。

では、各クラブの定款と細則は、いつ、どこで決まるのでしょうか。ロータリークラブ定款については、クラブの名称と所在地を除く事柄のすべてが、規定審議会で改定されます。規定審議会は、国際ロータリーの立法機関で、3年に1回開催され、各地区から1人の代表委員が参加して、提出された立法案について審議します。採択された立法案に沿って、標準ロータリークラブ定款が改定されますが、同時に各クラブの定款も変更されるのです。

立法案は、クラブからも提出できますが、クラブの場合は、地区大会の承認を受けなければなりません。

一方、ロータリークラブ細則は、定足数（クラブ会員の3分の1）の出席する例会で、出席会員の3分の2の賛成によって改正することができます。な

お、この改定案は、審議する例会の10日前までに会員に届けられていなければなりません。

また、国際ロータリー定款、細則、標準ロータリークラブ定款と背馳する改定、条項追加をしてはいけないことになっていますから、3年に1度開催される規定審議会で、それらが改正されるのに合わせて、クラブで見直す必要があります。

さて、ロータリーで最初の定款ができたのは、いつのことか、どのようなものだったのでしょうか。『ロータリー日本五十年史』には、「最初の定款ができたのは1906年1月で、(1)会員の職業上の利益の増進、(2)親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進、をその目的としていたが、その年のうちに、(3)シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞することが加えられた」とあります。

世界で初めてのシカゴロータリークラブができたのが1905年2月23日ですから、創立して1年たたないころにロータリークラブ定款がつけられたことになります。

複数の人が集まる組織をスムーズに運営していくためには、なんらかの決まりが必要になります。クラブ定款と細則は、皆さまのクラブを運営するために欠かせないものです。文章が堅苦しいとか、文字が小さくて読みづらいなどと言わず、常に確認をするようにしてください。

編集長 二神 典子



規定審議会



# 「会員アクセス」をご存じですか

「会員アクセス」と聞いて、「それは何？」と思う方は少なくないと思います。「会員アクセス」は、国際ロータリー（R I）のウェブサイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) にある、会員個人のための便利なツールです。

皆さまは、自分がいくらくらいロータリー財団に寄付をしたかを覚えていらっしゃいますか。新会員の中には、自分がロータリー財団に寄付をしていることすら、気づかない方もおられるかもしれません。

そんな時に役に立つのが、この「会員アクセス」です。ここでは、自分がロータリー財団に、いつ、いくら寄付をしたのか、確認することができます。そして、その寄付が年次基金への寄付なのか、恒久基金への寄付なのか、ポリオ・プラスへの寄付なのか、といった細かい情報も見るすることができます。

今年度の寄付額はもちろんです。自分が会員になった時からの累計金額を知ることできます。ロータリアンになる前にロータリー財団に寄付したことのある人、または、ほかのクラブから移籍した人は、ロータリー財団（R I 日本事務局の財団室）で、「以前に寄付をした〇〇と、□□ロータリークラブ（R C）の〇〇が同じ人物なので、□□R Cの〇〇の記録に統合する」という手続きをしておけば、今のクラブに入会する以前の記録も、すべてここで確認することができます。

「会員アクセス」では、このほかにどのようなことができるのでしょうか。毎年開催されるR I国際大会の登録をすることができます。また、新会員にとって便利なのは「Eラーニング学習システム」。ここでロータリーについて知ることができます。残念ながら、すべてが日本語に訳されているわけではなく、新会員にとっては少し難しい内容のものもありますが、思い切ってチャレンジしてみてください。

新しいコーナーとしては、「ロータリー・ショーケース」があります。ここでは、皆さまのクラブのプロジェクトを、写真と短い説明文で紹介することができます。でも、ここから活動記

事を投稿する時は、少しだけ気をつけてください。「会員アクセス」は、個人のページで、自分だけしか見ることのできないページですが、「ロータリー・ショーケース」に書き込んだプロジェクトは、全世界に公開されています。写真には、いろいろな人が写っていますが、公開しても大丈夫なのか、公開するのを好まない人が写っていないか、慎重に考えて、掲載する写真を選んでください。

では、「会員アクセス」を利用するには、どのようにしたらいいのでしょうか。R Iのウェブサイトを開くと、右上に小さな文字で「会員アクセス」とありますから、ここをクリックしてください。ここで、画面に従って、登録したメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックすれば、自分のページに入ることができます。

初めての方は、「アカウントの作成」をクリックして、必要な情報を入れてください。登録したメールアドレス宛てにメールが届きますから、そのメールの内容に従って、さらに情報を入力します。この手続きが完了すれば、「会員アクセス」を利用することができるようになります。

充実したロータリー活動をするには、まず、自分の情報をきちんと知ること、さまざまな活動に参加することです。皆さまも一度「会員アクセス」にアクセスしてみてください。編集長 二神 典子



「会員アクセス」の画面

## ロータリーの女性会員

1989年、ロータリーにとって大きな出来事がありました。この年の7月、女性がロータリークラブに入会することが、正式にできるようになったのです。

ロータリークラブは、1905年2月23日、ポール・ハリスを中心に4人の男性によってスタートし、その後、長い間、男性だけの組織として、成長を続けてきました。1950年、国際ロータリー（R I）の年次大会で、インドのロータリークラブが、標準ロータリークラブ定款から「男性（male）」という言葉を削除するという規定審議会への制定案を提案。また、1964年以降、規定審議会において、女性会員の入会に関する提案が何度も出されましたが、すべて否決されてきました。

1977年、アメリカ・カリフォルニア州のデュアルテロータリークラブ（RC）は、女性の入会を認めました。しかし、当時、女性の入会は、R I定款やロータリークラブ定款で認めているものではありませんでした。その結果、同クラブは、1978年3月、R Iへの加盟が終結されることになりました。

これに対して、同クラブは訴訟を起こしますが、1980年、カリフォルニア州最高裁判所は、国際ロータリーを支持する判決を出しました。1986年、控訴裁判所は、下級裁判所の判決を覆しましたが、カリフォルニア州最高裁判所はこの決定を退け、クラブは合衆国連邦最高裁判所に控訴しました。

1987年、連邦最高裁判所は、「ロータリークラブが、性別を理由に女性を会員として拒否することはできない」という判決を下しました。この判決を受けて、「アメリカのロータリークラブは、資格を満たす条件を入会できる」とする方針声明を発表しました。

1989年、判決後に初めて開かれた規定審議会で、「ロータリークラブの会員は男性だけに限られる」とする定款を削除する案を可決。1989年7月から、世界中のロータリークラブで女性の入会が認められることになりました。

ちなみに、デュアルテRCは1986年9月にR Iに復帰。最初の女性会員は、

同クラブのシルビア・ウッド氏です。なお、連邦最高裁の判決後の1987年5月28日、女性の創立会員を含めた初めてのクラブとして、カリフォルニア州に、ラークスバー・ランディRC（現・マリン・サンライズRC）ができました。

当時、『ロータリーの友』でも、女性会員に関するアメリカでの裁判の記事、女性会員入会の賛否などの記事が誌面をにぎわしていました。

現在、女性会員はクラブだけでなく、地区の委員長、ガバナー、さらには、R I理事やロータリー財団管理委員を務めるなど、地区やR Iでも活躍しています。

日本で初めての女性会員は、第2500地区・北海道清水RC（現・清水RC）の松田郁子氏。その後、徐々にですが、その他のクラブでも女性会員の入会が認められるようになり、数年後には、女性が会長になるクラブも出てきました。

日本でも地区の委員長やガバナー補佐を務める女性会員が増え、ガバナーに就任した女性会員も3人いますが、残念ながら、女性会員が一人もないクラブも半数近くあります。女性会員の割合も、世界平均の17.6%に対して、4.8%とはるかに及びません。

職業、年齢など、多様性を重んじるロータリーですが、女性会員の入会によって更なる多様性を加え、より多くのアイデア、より多くのニーズを吸収できる組織へと発展していったほしいものです。

『友』編集長 二神 典子



© Monika Lozinska / Rotary International

## ポリオ撲滅

1979年、国際ロータリー（R I）は、フィリピンの600万人の子どもたちに、ポリオの予防接種を行う活動を始めました。

1985年2月、ロータリー創立80周年に当たって、R Iは、ポリオ・プラス計画を発表しました。日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンを開始。1986年7月から1991年6月までの5年間で、約49億円の寄付金を集めました。

最初のキャンペーンが発表された当時、日本では、ロータリーが外に向かって資金集めをするということはほとんどなく、加えて、全世界的な活動を展開することには、大きな抵抗がありました。I serveか We serveか、個人奉仕か団体奉仕か、至るところで議論されたものですが、約束を守るのがロータリアン、日本でも、最初に公約した金額をはるかに超えた資金を集めました。

しかし、ポリオ撲滅は最初に考えていたよりはるかな困難を伴い、また、多額の資金が必要でした。最初のキャンペーンの後も、さまざまな形で資金集めが行われてきました。

2007年には、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のために1億ドルが、2009年1月には2億5,500万ドルのチャレンジ補助金がロータリーに寄付され、世界のロータリアンは「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」を展開。2012年6月30日の期限を待たず達成し、ゲイツ財団は新たに5,000万ドルの寄付を発表しました。

しかし、資金不足はまだまだ深刻です。R I事務総長のジョン・ヒューコ氏とマルガ夫人は、11月17日、ポリオ撲滅の資金集めを目的として、111マイル（約180km）の自転車レースに参加しました。日本でも、東京中央ロータリークラブの木村清信会員が、毎年マラソンに出場して資金集めをしています。今年は、6月にサロマ湖100キロマラソンに、「END POLIO NOW」ロゴ入りのTシャツを着て走り見事に完走、多額の寄付を集めています。

1988年、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、アメリカ疾病センター（CDC）、そして国際ロータリーが団結して「世界ポリオ撲滅計画（GPEI）」が発足しました。現在、これらの組織、各国政府、研究機関などが協力して、ポリオ撲滅活動に取り組んでいます。

1988年当時、125か国にポリオが常在し、33万件の新たな感染の症例が確認されていましたが、ロータリーとパートナー組織の努力の結果、ポリオ常在国だったインドは、2012年1月13日までの一年間、ポリオの新たな発症が報告されず、2月25日、WHOは、同国を常在国のリストから除外しました。現在、常在国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国になりました。ポリオ撲滅はあと少しのところまできました。

世界からポリオがなくなると証明されるまでに、ロータリーによる全世界ポリオ撲滅活動への寄付額は12億ドルを超えるであろうとされています。これに加え、地元のロータリークラブや地区によって行われてきたポリオ撲滅活動のための現物抛出や個人的貢献は、数百万ドルにも上ります。日本からも多くのロータリアンやロータリーの家族たちが現地へ赴き、全国統一接種日にワクチン投与などの活動をしています。

わずか60セント（約50円）で、1人の子どもをポリオから守ることができるのです。子どもたちの命を守る活動に参加ください。

『友』編集長 二神 典子



© Rotary International



## 国際大会に参加しましょう

国際ロータリー（R I）国際大会は、年に1回開催され、全世界のロータリアンとロータリーの家族が一堂に会する会合です。ロータリーの規則などが書かれた『手続要覧』に、「4～6月に開催される」とありますが、これまで4月に開催されたことはありません。

日本では、1961年東京、1978年東京、2004年大阪の3回開催されましたが、いずれも5月に開かれています。梅雨に入る前の天気安定している時ということや、日本では6月は株主総会が集中して開催されるので国内のロータリアンが参加しやすいようにという配慮から、5月に開催されるのでしょうか。

国際会議に参加してまず驚くのは、さまざまな国の人たちに出会えるということです。言語も、国籍も、肌の色も違う人たちが、ロータリアンというだけで、旧知の人たち同様に、親しく話ができるということは、ロータリーの良さの一つでしょう。

開会本会議では、趣向を凝らした華やかな舞台を楽しむことができます。また、ロータリーがある国々の国旗の入場では、ロータリーの国際性を実感できます。その後の各本会議では、ロータリーの活動、世界がいま直面している課題など、さまざまな情報を得ることができます。講演者はいずれもその分野の第一人者ばかりで、知識を広げるのにはうってつけですし、また、感動的な講演を聴くこともできます。

本会議は、すべて日本語の同時通訳が提供されています。大会場で、通訳を聞くためのラジオを購入することができます（無料で配布される年もあります）が、会場は広く、慣れないとその場所を見つけるのに時間がかかる場合もありますから、できれば、日本でFMラジオを購入して持参されることをお勧めします（海外と周波数が違いますから、海外で使えるかどうかご確認ください。1,000円程度のもので十分です）。

本会議は午前中に開催されますが、午後は、分科会です。いくつかのテーマに分かれた会場では、そのテーマの専門家や、これまでその活動に取り組んできたロータリアンたちの話を聴くこともでき

ますし、自分の経験や考えについて発表したり、パネリストに質問をする機会も十分に設けられています。こちらは同時通訳が提供されないのが基本ですが、いくつかの分科会では日本語の同時通訳が提供され、また、日本人のために日本語で討論できる分科会が提供されることもあります。いずれもプログラムで確認ができます。

「友愛の家」には、ロータリアンの親睦グループや地区、クラブなどのブースが設けられ、また、いろいろな催しが開かれています。さまざまなプロジェクトについて資料を入手したり、説明を聞くことができます。簡単な食事をすることもできます。世界中からのロータリアンが交流をしていますので、友人ができるかもしれません。もし、きものやハッピーを着ていたりすれば、一緒に写真を撮りたいと声をかけられるかもしれません。

最終日の午後には閉会式があり、感動的なフィナーレが待っています。

さて、日本では国際大会と言っていますし、『手続要覧』にも国際大会という言葉が出てきます。英語では Convention です。ロータリーの第100回の Convention がバーミンガムで開催されました。第1回は1910年にシカゴで開催されましたが、当時、ロータリークラブはアメリカだけで、「国際」大会ではありません。したがって、国際大会という意味ではバーミンガムは100回ではありません。そこで、この時からR I年次大会という言葉が使われるようになってきました。

編集長 二神 典子



## ロータリー始まりの日

それは、1905（明治38）年2月23日である。この頃は、自動車がようやく実用化の段階に入ったばかりで、まだ馬車の方が巾をきかしており、飛行機もそれより約1年ばかり前、ライト兄弟によって発明されていたが、ほんの2～3分間空に浮かぶことができるという程度であった。（日本で云えば、日露戦役の終わった年にあたる）

この年の2月23日の晩、米国イリノイ州のシカゴで4人の人がデアボーン街にあるユニティ・ビルの711号室に集まった。4人というのは、弁護士のポール・P・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鋳山技師のガスタバス E. ローア、洋服商のハイラム・ショーレーである。“ガス”ローアの事務所であるこの部屋は狭く、机が1つとあまり掛け心地のよくない椅子が四つおかれているほか、隅に洋服掛けがあり、壁には写真が1～2枚と工事関係の図表がかかっている。当時ありふれた事務所であったようだ。4人は、ポール・ハリスが過去5年の間あたためてきたアイデアについて語り合った。簡単に云うと、お互いの事業あるいは職業上の結びつきを通じて、友好的交友関係を築くことができるはずであり、またそうすべきであるというのである。仕事の上での関係が、友情の妨げとなることはない、ポールは考えたのである。

上記の文章は、「国際ロータリー・広報提供」として『ロータリーの友』1969年2月号に掲載された「ロータリーの始まった日」というタイトルの記事の冒頭です。ポール・ハリスが若いころ、5年の予定で放浪生活をしていたことは、ご存じの方も多と思います。予定の5年に、3か月を残していたころ、弁護士事務所を開くためにシカゴにやってきた、と『MY ROAD TO ROTARY（ロータリーへの私の道）』には書かれています。

しかし、喧騒とした大都会で、彼は孤独を感じていました。そんな時、ポール・ハリスは、ある経験をします。そして、その経験が、ロータリーをつくるきっかけになりました。「ある晩、私は同業の友人に連れられて、郊外の彼の家を訪れました。夕食後、近所を散歩していると、友人は、店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。これを見ていて私

は、ニューイングランドの私の村を思い出しました。そのとき浮かんだ考えは、どうにかしてこの大きなシカゴで、さまざまな職業からひとりずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見をひろく許しあえるような人を選び出して、ひとつの親睦関係をつくれぬものだろうか、ということでした。こういう親睦関係ができれば、必ずお互いに助け合うことになるはずですよ」と、前出の『MY ROAD TO ROTARY』に書いています。

1905年2月23日。ロータリーの会合が初めて開かれたこの日、その会合の前に、ポール・ハリスは、シルベスター・シールと夕食を共にしています。『奉仕の一世紀』には、「その日の午後遅く、ポールとシルベスターはマダム・ガリのレストランで夕食を共にし、親睦とビジネスを推進するクラブという構想について話し合った。（中略）夕食後、ポールとシルベスターはデアボーン・ストリート127番地のユニティ・ビル7階にあるローアの事務所まで歩いて行った」と、書かれています。

ところでこの時、二人は何を食べたのでしょうか。この質問に対する答えは、ここには書かれていませんが、『The National Rotarian』（『The Rotarian』の前身）1912年3月号に見ることができます。その中でポール・ハリスは「私は、シールと私がマダム・ガリの店に行き、スパゲティ・ディナーを食べたのをよく覚えています」と述べています。

皆さまも、二人のように、スパゲティを食べながら、ロータリーについて語り合ってみてはいかがでしょうか。

編集長 二神 典子



ロータリー100周年を記念して、最初の会合が開かれたビルの跡地に設置されたプレート

## 大震災と日本のロータリー

日本は地震の多い国です。日本のロータリーの歴史には、大地震との関係が色濃く表れています。

東京ロータリークラブ（RC）の創立は1920年10月20日、大阪RCの創立は1922年11月17日です。関東大震災が発生したのは、1923年9月1日のことです。関東一円、特に東京と横浜は、この地震によって壊滅的な被害を受けましたが、これを耳にした当時の国際ロータリー（RI）会長ガイ・ガンディカーは、お見舞いの電報とともに2万5,000ドルを、被害に遭っていない大阪RCを経由して送ってきました。

シカゴRC、サンフランシスコRC、ニューヨークRCをはじめ、各国の503のクラブからも続々と義援金が寄せられ、その総額は8万9,000円にも達しました。当時の会員たちは、そのような大金が世界中から送られてきたことに、とても驚いたでしょう。この出来事によって、当時の会員たちは、初めてロータリー運動の何たるか、ロータリークラブとはどういうものなのかが理解できたと言われています。東京RCは、その義援金を、東京・横浜の小学校の再建や、被災者救護、殉職警察官遺族への援助などに使いました。さらに東京孤児院内に、新築1棟を寄贈して、「ロータリー・ホーム」と名づけました。

1995年1月17日に阪神・淡路大震災が発生した時、被災地には、国内各地からいち早く多くのロータリアンが駆けつけました。まだ電車が止まり、各地で道路が寸断されているなか、クラブでおにぎりや温かい食べ物を用意して、被災者が避難している学校や公園などで配ったり、自分たちの職業を生かして、倒れた墓石を立て直したり、鉄道の復旧作業をしたりしました。また、この地震で親を亡くした子どもたちの里親になり、支援したクラブもあります。

この時、国内の各クラブをはじめ、世界中から多額のお金が寄せられ、被災者が必要としている物資を購入して届けました。交通手段が確保できないなか、坂道の多い神戸で活躍したのがロータリーが送った原動機付き自転車でした。被災者の様子を確認したり、救援物資を運ぶのに大活躍をしました。また、神戸ではその義援金を元にして、「ロータリー子どもの家」と「ロータリー留学生

の家」が建てられました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災については、テレビで何度も放映された、津波の押し寄せる場面に目に焼きついている方も多いと思います。地震の恐ろしさは、この映像とともに瞬時にして世界中の人々に伝えられました。何か支援をしたい、お手伝いすることはないか、というメールが、世界中のロータリアンから、その日のうちに日本国内の多くのロータリアンに届けられました。

日本のロータリアンたちもすぐに行動を起こしました。道路が寸断されているにもかかわらず、食料や水、毛布など、緊急に必要なものを思いつく限りクルマに積んで被災地に駆けつけたロータリアンも少なくありません。被災者への支援活動は、時間の経過とともに少しずつ形を変えていき、物資だけではなく、心のケアに力を入れる支援が増えてきました。

世界中のロータリアンからロータリー財団を通して送られてきた寄付は約800万ドルにもなり、国内の会員からガバナー会に送られた寄付は約10億円になりました。このほか姉妹クラブや友好クラブを通じた海外からの送金、国内のクラブが日本赤十字社や地元の自治体を通じて行った寄付を合わせると、その金額は莫大なものになります。

東日本大震災では、家や事業所を津波で流されたロータリアンも大勢います。亡くなった会員、家族を失った会員もいます。しかし、自らが被災したにもかかわらず、全世界からの支援を確実に被災者に届けるため活動しています。支援はまだまだ必要です。ロータリーは、決して被災者の方々を忘れることはありません。

編集長 二神 典子





## ロータリーの立法機関 規定審議会

規定審議会が4月21～26日に開催されます。新会員の皆さまは規定審議会という言葉をお聞きになったことがないかもしれません。規定審議会は3年に1回開催されますから、新会員の皆さまにとっては、初めての規定審議会が開催されることになります。

規定審議会は文字通り、規定を審議する国際ロータリー(RI)の会合です。各クラブにクラブ名の入った「〇〇ロータリー・クラブ定款」ならびに「〇〇ロータリー・クラブ細則」がありますが、この規定審議会で決まったことが、それらの基になっています。

『2010年手続要覧』によれば、「規定審議会はRIの立法機関で、RIの組織規定を改正する権限を有する」とあります。ロータリーの規定は誰か偉い人たちが決めているのではないかと思っている方も多いようですが、この規定審議会に提出する立法案は、各クラブからも提出することができます。

規定審議会の2年前の年度に、クラブは規定審議会で地区内のクラブを代表するロータリアンを選びます。このロータリアンを代表議員と言います。代表議員については、地区大会で選挙されるか、場合によっては郵便投票によって決定されます。しかし、その人が病気などの理由で規定審議会に出席できない場合も考えられますから、この時に補欠議員も一緒に選ばれます。代表議員になるためには、RI役員として全期を務めなければなりません。

立法案は大きく2つに分けられます。「制定案」は、RI定款、細則、標準ロータリー・クラブ定款を改定するものです。「決議案」は組織規定を改定しない審議会決定のことを言います。今回の規定審議会に提出されている立法案は、RIのウェブサイトに掲載されています。また、規定審議会後、決定が他の規則と矛盾がないか、文言が適切かなど一定の確認を経て、全クラブにその決定が通知されます。

多くのクラブでは、その通知をそのまま事務局に置くか、会長、幹事が保管しておくことが多いようですが、各クラブには、規定審議会の決定について異議を申し立てる権利があります。規定審議会の決定は、会議終了後、2か月以内にRI事務総長から全クラブに送られてき

ます。その時、反対の意思表示をするための書式も同封されます。各クラブで、何が決定したのかをよく確認して、問題があると思う場合は、手続きに従ってRIに意思表示をください。

日本のロータリアンの多くは、RIが決めたことを変えることはできないと考えているようです。しかし、次のようなことがありました。

2001年の規定審議会で「謝意の表明」というものが決まりました。RI会長の働きに感謝して退任時に一定のお金を贈って感謝の意を表しましょう、というものです。日本のロータリアンの多くがこの決定に対して異議を唱え、日本中のいろいろな所で議論が盛り上がりました。しかし、異議を唱えている方々は、RIが一度決めたことは決して変わることはない、とRIに対しての行動を取りませんでした。

ところが、2004年の規定審議会に「謝意の表明」の項目を削除するという立法案が外国のロータリークラブから数件提出され、採決の結果、賛成多数で決議されました。きちんと手続きを取れば、反対意見が通ることもあるという証明です。

さて、異議申し立てのための一定の期間が過ぎ、新しい国際ロータリー定款・細則、標準ロータリー・クラブ定款が決定したら、今度は自分たちのクラブの規則を改定する番です。標準ロータリー・クラブ定款はクラブ名や所在地域を入れてそのまま使います。ロータリークラブ細則は、変更点に矛盾が生じないようにして、クラブでの一定の手続きを経て変更します。詳細は、昨年9月号の本欄をご覧ください。

編集長 二神 典子



## あなたはなぜロータリアン？

「あなたはなぜロータリアン？」

こんな質問をされたら、皆さまはどのように答えますか。「立派なロータリアンを見て、憧れていたから」とか、「ロータリアンが奉仕をする姿を見て、自分も仲間に入りたいと思ったから」という方が多いことを願っていますが、「取引先の人に言われて仕方なく……」とか、「先輩に言われて断われなかったから」などというのが入会の理由、という人も多いかもしれません。

消極的な理由で入会した場合、入会して数か月では、「毎週の例会に出席するのが大変」「どこが楽しいかわからない」という人も少なくないかもしれません。

「そろそろやめたくなくなってきた」。そんなことは言わないでください。1年、2年たち、クラブの例会出席を重ねるうちに良い友人ができ、いろいろ教えてくれる先輩ができ、例会に出席するのが楽しみになってきます。クラブの例会時間に合わせて仕事を調整し、例会に出席することが、それほど難しいことではなくなってくるはずですよ。

クラブの奉仕活動に参加し、仲間たちとともに活動することによって、お互いに本当に良い仲間だと思えるようになるでしょう。自分たちが手を差し伸べた人々の笑顔を見て、「ありがとう」という言葉を聞いて、自分がその人たちにあげたものより、その人たちからもらったものの方が、ずいぶん多いと気づくかもしれません。

国際大会に参加すれば、世界中に友人や仲間がいることがわかります。外国のロータリアンたちと、国や言葉の壁を乗り越えて親しくなることができます。世界中のいろいろな所で、多くのロータリアンたちが、自分と同じように活動をしていることを知ることができます。

その時、「ロータリアンで良かった」と思うことでしょう。国際ロータリー（RI）会長の田中作次氏は、「ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験があるかと思います。これを、『ロータリー・モメント（心に残るロータリーの体験）』と呼ぶ人もいます」と述べています。感動する出来事は、人それぞれです。しかし、何か一つ

でも、そしてそれがどんなにささやかな出来事でも、何か感動体験を持っているからこそ、「あなたはロータリアン」であるはずだと、田中RI会長はおっしゃりたいのかもしれませんが。

ロータリークラブに入会するのは、「仕方なく……」という消極的な理由であったとしても、そこで活動を続けていくうちに、「あなたはなぜロータリアン？」という質問に対する積極的な答えを見いだせることでしょう。ロータリークラブに入った理由と、ロータリアンであり続ける理由が違う場合も少なくないと思います。

『ロータリーの友』では、田中RI会長の呼びかけに応じて、昨年9月号から「ロータリー・モメント（心に残るロータリーの体験）」というコーナーを設けました。ここには、「ロータリアンで良かった」と思った、その瞬間について、多くの人が寄稿してくださっています。

さて、皆さまの「ロータリー・モメント」はどのようなものでしょうか。「そんなこと考えたことがなかった」という方も、この機会にぜひ一度、考えてみてください。考えて、「そんなもの見つからなかった」という方は、例会で先輩会員に声をかけてみてください。クラブの奉仕活動に参加してみてください。ほかのクラブの例会に出席してみてください。地区大会や国際大会に参加してみてください。近い将来、必ず自分自身の「ロータリー・モメント」ができると思います。

そして、その時、「あなたはなぜロータリアン？」という質問の答えが見つかっているはずですよ。

編集長 二神 典子



©Alice Henson / Rotary International

## ロータリーの情報はどこから？

ひと言で「ロータリーの情報」と言っても、ロータリーの規則、歴史、国際ロータリー（R I）の動き、ロータリークラブの活動など、さまざまなものがあります。

「例会は大事だから、休んだ時には必ずメイクアップを」と先輩会員から言われている新会員の皆さまにとって、いつ、どこで例会が開催されているのかということが、関心事の一つかもしれません。

国内のロータリークラブの例会を検索するには、『Rotary Japan』[www.rotary.or.jp](http://www.rotary.or.jp) がお役に立ちます。「クラブ例会」をクリックすると地図が出てきますから、地区番号をクリックしてください。曜日別の一覧表が出てきます。ホームページを開いているクラブは、その一覧表からホームページを開くことができます。「HPへ」をクリックしてください。また、海外のロータリークラブの場合はR Iのウェブサイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) の右上にある「クラブ所在地検索」で検索してください。『公式名簿（OFFICIAL DIRECTORY）』（クラブ事務局に備えてあります）で調べることができます。

ロータリーに関する基本的な知識を得たい方は、『Rotary Japan』かR Iのウェブサイトいろいろな資料が掲載されています。『Rotary Japan』の「ロータリー関連資料」には、歴代のR I会長の名前と写真、R Iテーマ、国際大会の開催地と参加人数、国内地区の会員数・クラブ数の一覧表などが掲載されています。R Iのウェブサイトの「会員アクセス」では、自分がロータリー財団にどれくらい寄付したのかを確認することができます（2012年『友』誌10月号本欄をご参照ください）。

クラブの活動やロータリアンの考えを知るのには、手前味噌ですが、何と言っても『ロータリーの友』がイチバンです。日本中のロータリークラブから寄せられた活動報告が毎月いっぱい掲載されていますが、それらは皆さまの仲間たちの記録です。これらの記事から、クラブの活動に参考になるもの、ロータリーを知るのに役立つものも多いと思います。毎月届く『友』誌の隅々にまで目を通すのは大変ですが、いつも手元に置いて少し時間がある時に読んでみてください。

『ガバナー月信』や地区のウェブサイトは、身近な情報を得るために欠かすことのできないものです。地区によって作り方は異なりますが、地区内の行事をはじめ、地区内のさまざまな情報が掲載されています。

『クラブ会報』は、仲間の状況を知ったり、クラブの行事を知ったり、クラブ内のさまざまな情報を提供してくれます。しかし、クラブのことに関して言えば、例会に勝る情報源はありません。会長のあいさつ、幹事や委員長の報告など、クラブに関する大切な情報を知ることができますが、何より、仲間たちの状況を直接知ることができるからです。

ユーチューブには、クラブや地区から投稿された、たくさんの活動が掲載されていますので、のぞいてみてください。

さて、新しいメディアとしては、フェイスブックやツイッターがあります。これらのツールを使って情報発信をしているクラブや地区も増えてきました。田中作次R I会長もフェイスブックに訪問先の写真や出来事を掲載しています。

個人的にも、フェイスブックにロータリーに関する自らの活動や、経験したことを掲載しているロータリアンが増えてきました。これらのツールを活用すると、同じロータリアンと言ってもなかなか知り合うことのできない人たちと知り合いになることができ、情報交換ができるようになります。

R Iでは、これらの新しいメディアを公共イメージの向上に役立てるよう奨励しています。新会員の皆さま、先輩会員にはない新鮮な感覚でロータリーを伝えてください。

編集長 二神 典子

